



発行所
 山形県立寒河江工業
 高等学校PTA
 山形県寒河江市緑町148
 電話(86)4278

第66号
 平成24年2月6日



3・11大震災の影響で何かと暗いニュースの多かった今年度ですが、寒河江工業高校 P T A では皆様の暖かいご支援とご協力で23年度を無事に終えようとしております。大変有難うございました。この一年間の活動をレビューしてみたいと思います。

一年間を振り返って



P T A 会長

高橋 善浩

から作品出展や、地区 P T A 活動の写真を提供してもらい盛り上げていただきました。保護者の皆様からも寒工祭を見ていただき、活気ある文化祭でした。

親と子供の絆がより太くなったとお聞きしております。地区 P T A は寒河江工業高校 P T A の特色でもあり、今後子供たちの育成に有効な組織と考えております。

7月の親子レクレーション大会では25年度からの学校再編による影響の会員減を先取りし、ソフトバレーボール競技だけで開催いたしました。ソフトボールを楽しみにして方も多く、来年度以降の課題にしたいと思っております。会員同士の情報交換や懇親を深め

るためにも継続したい事業であります。

恒例となりました寒河江みこし祭への参加。子供たちの大いなるパワーを見せてもらいました。P T A の方々からもご声援とご協力をいただき誠に有難うございます。沿道で見えていた小学生からは、ハテクみこしを担ぎたいと入学を望んだ子供もいたとか。地域と共存する活動として大切にしたいと思っております。また、「寒工祭」では、P T A の方々

各専門部より

一年間を振り返って

総務部部長 伊藤 俊哉

13地区の代表として、各地区の行事と共に学校 P T A に参加してきました。総会に始まり、地区懇談会・地区対抗レクレーション大会・神輿の祭典・ボランテニア活動・村山地区 P T A 研修会・寒工祭等の各事業への参加と協力をしてきました。また平成25年度以降の西村山地区高等学校再編整備による P T A 組織の改編の意見交換し今後の P T A 活動がより良くなるように提案していきたいと思っております。一年間御協力ありがとうございました。

白熱続きの好試合

体育部部长 安孫子賢吉

体育部最大の行事であった伝統ある P T A 地区対抗レクリエーション大会が盛大に行われ、予定時間をオーバーする程白熱した試合が続ぎ、ワールドカップで世界一になったのでしこジャパンに負けず劣らぬ最後まで諦めない好試合の連続でした。その結果、男子は西川地区・女子は寒河江東地区の優勝でした。当日は、会員同士の親睦や他地区との交流又親子の絆も深め常日頃の運動不足の解消も出来、有意義な一日だったのではなかったかと思っております。最後に、ご協力いただいた皆

協力

育成部部长 小野 忠男

私は3年間、育成部をやつてまいりました。6月と10月のマナーアップ運動、バイクの3ない運動、9月のみこし祭りの参加は生徒達が協力しあつて巡回指導したり、すばらしい活動の参加だと思えます。進学又は就職しても自分

一年間を振り返って

文教部部长 安孫子正年

平成23年度の P T A 活動も残りわずかとなりました。地区 P T A 活動や、村山地区 P T A 研修会に参加させていただき、地区の皆様、学級の皆様そして先生方との関わりの中で、いろいろな面で勉強させていたいただきありがとうございます。文教部では、伝統ある寒工高 P T A 新聞「輝くエンジニア」の発行を年2回行いました。P T A 活動や生徒達の様子をわかり易くより多く伝えられるよう心掛けました。この P T A 新聞のタイトルにもあるように、子供達が輝くエンジニアとして果立っていく手助けになれば幸いです。最後に、P T A 新聞作成にご協力頂きました皆様本当にありがとうございました。



保護者の皆様の御理解御協力に感謝します。PTAに関する話題を2つ記します。

昨年の8月25・26日に高橋会長さんと札幌で開催のPTA全国大会に行ってきました。

2日目の講演で、二年前まで旭川市旭山動物園の園長だった小菅正夫さんの『命をつなぐ』と題する話を伺いました。

動物園で生まれて子育てを知らないオランウータンのリアンは、自分のお腹から生まれた子ども、また、へその緒でつながっている子どもを抱くことができなかったのです。飼育員が何とか教えて、赤ちゃんに乳首を吸わせます。



校長 吉田 敏明

子育ては体験学習活動だ

乳首に吸いつかれることで母性本能にスイッチが入ります。霊長類は赤ちゃんを抱いて育てる動物なのです。リアンはそこから母親らしく行動することができました。2人目の子どもの時はもう自分で抱くことができました。長女は傍らで子育てをじっと見て学習していました。つまり霊長類の子育ては本能ではなく、体験しながら学習して受け継ぐ活動なのだという話です。

子育ては学びなのです。人間もそうして大切な命をつないできたのです。親として悩み苦しみ思考錯誤しながらも他の親から、あるいは子供から常に学ぼうとする心がけが大切なのだと思います。

2つめ。平成25年度から西山地区高校再編で、本校は学年3学級となります。小さなことでPTA活動にも収入減や役員の負担増などが懸念されることから、役員数削減案や地区統合案などについて、アンケートを実施しました。集約の結果、特に地区割りについては現状を維持したい

持っていました。多岐な意見が多かったです。ようです。地区PTA活動の伝統の重さを感じました。大変でも活動を盛り上げようとする役員

進路面 5:よい 4:少しよい 3:普通 2:やや不十分 1:不十分

Table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 3 rows of survey questions regarding career guidance.

学習面

Table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 8 rows of survey questions regarding learning and curriculum.

保健面

Table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 2 rows of survey questions regarding health and safety.

生活面

Table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 4 rows of survey questions regarding school activities and community participation.

庶務面

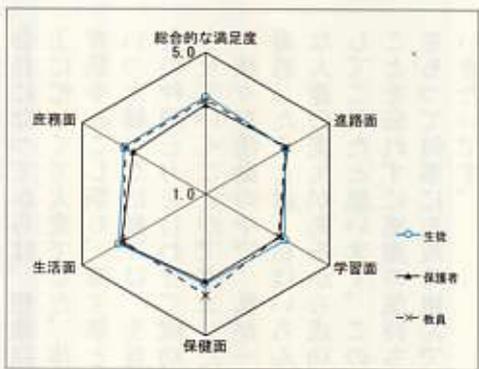
Table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 4 rows of survey questions regarding PTA and school management.

総合的な満足度

Table with 4 columns (生徒, 保護者, 教員, 全体) and 2 rows of overall satisfaction survey questions.

総務部 平成二十三年度 学校評価アンケート 総務部長 伊藤 一夫

○回収率は、92・9%。 ○昨年度と各領域ごとの全体 平均値は、ほぼ同じ。 ○領域で高いポイントは、⑤、⑫・⑭である。 ○3点未満の項目は、⑦のみ。 今後、記述部分を含めて結果を分析し、来年度に活かしていきます。



地区高P連に参加して

PTA副会長 兼子 忠雄

9月24日、河北町のサハト
べに花を会場に村山地区高P
連の研修会が開催されました。
今回は、西村山地区の四校が
担当校（谷地高が開催事務局、
他の3校が協力校）に当たり、
本校PTAから高橋会長が実
行副委員長として進行係を務
めました。又、地元開催とい
う事もあって他にも多数の方
が参加され、本当にお疲れ様
でした。内容としては、天童
市在住の伊藤あさみさんの講
演が「やればできる！母から
もらった命と勇氣」と題して

約二時間、天
童高から『家
庭教育とPT
A』、山形南
高から『生活
指導とPT
A』と題して
各三十分ずつの研究発表があ
りました。紙面の関係で詳し
くは書けません、とにかく
子供達に『（自分は）やれば
できるんだ！』という強い信
念を持って何事にも恐れずに
挑んでいく姿勢が必要である
と改めて感じました。



感謝と継続

寒河江南地区会長 綱川 寛

この度、寒河江南地区では
特別老人ホーム長生園の開設
30周年にあたり、長年にわた
る施設内の清掃などのボラン
ティア活動に対して表彰を受
けました。普段、行き届かな
い窓拭きや換気扇、車椅子な
どをきれいにしてい
ます。

でなく私たち保護者も貴重な
経験となっています。また、
親と子がともに行動できる有
意義な活動となっていますの
で、子供たちに何かを感じ
とって欲しいと思っています。
これまで世の中の繁栄に努
力されてこられた方々
そして、この活動を続
けてこられた諸先輩の方
々に、心から感謝を
申し上げますと共に、こ
れからもこの奉仕活動
を続けて欲しいと思
います。

人との関わりが大
切な今日、老人介護
施設でのボランティア
活動は、お年寄り
の方と接する機会も
多く、子供たちだけ



この度、寒河江南地区では
特別老人ホーム長生園の開設
30周年にあたり、長年にわた
る施設内の清掃などのボラン
ティア活動に対して表彰を受
けました。普段、行き届かな
い窓拭きや換気扇、車椅子な
どをきれいにしてい
ます。

ボラ、ニティア・シリーズ

「地区のために自信を持つ」

山形北地区PTA会長
村岡 雅史

山形地区PTAは、毎年馬
見ヶ崎河川敷（千歳橋を中心
として二口橋から奥羽本線橋
まで）の清掃活動を行って
います。今年は6月26日（朝六
時に集合、雨で延期すること
なくゴミ拾いが出来て大変良
かったと実感しました。毎年
春の新役
員会議で
議題とな
る活動場
所ですが、
山形北地
区は六つ
の中学校
区が混在
しており、
なかなか難しいのが実情です。
今年新たな取組みとして、山
形市役所に出向きゴミ減量課
で手続きを得て専用の「ボラ
ンティア袋」と粗大ゴミに貼
る「シール」をもらい当日拾
ったゴミを入れました。山形
市でも寒河江工業高校の親子
が地区のためにやっているこ
とを理解してもらい、今後の
活動に一層自信を持つことが
出来ました。



「歩道のガム剥がし」

山形南地区PTA会長
清水二三彦

歩道のガム剥がしをして
いるのを初めて見た時、しぼら
く考え込んでしまった。
ガムを噛んだあとは紙に包
んでくずかごに捨てましょう。
大多数の人は知っているはず
なのに、『面倒臭い！』の言
い訳一つでみんなに迷惑をか
けている。歩道に付いている
ましてや他人が吐き出したガ
ムなど、自ら進んで剥がそう
とする人など居ないだろう。
いわゆるボランティアは
「社会奉仕の精神」といわれ
る。奉仕活動は、活動をする
人が評価される一方で、同じ
社会のどこかでは、その活動
の原因を
作ってい
る人が居
る、この
現実を自
覚する人
が増えれ
ば少なく
とも歩道
にガムを
吐く人は
減ると思
う。



3年間を振り返って

前生徒会長 佐々木 到



この寒河江
工業で過した
3年間を振り
返ると、とて
も充実した3年間でした。
その3年の中でも大きく私
を成長させてくれたのは生徒
会長など、みんなの先頭に
立って物事を進めていくとい
う、今までには経験したこと
のないことを体験することが
できたからです。私は生徒会
長に立候補するまでは、一度
もそういう役職に就こうとも
思っていませんでした。しか
し、前生徒会の取り組みを見
ていて、自分もみんなの先頭
に立って様々な活動を成功さ
せ、寒河江工業をより良い学
校にしていきたいと思うよう
になりました。そして、生徒
会長になってからは、想像以
上に忙しくて大変でした。体
育祭やみこし祭り、寒工祭と
いった様々な活動では、生徒
会の仲間と力を合わせて成功
させていくことができました。
様々な活動の中で、私が一
番感じたことは、私はいろん
んな人達の支えがあるから成功
してこれたと思います。この
ことを忘れずに感謝の気持ち
をもって何事にも取り組んで
いきたいです。

インターハイを目指して

陸上競技部監督 高橋直人



今年度の東北高等学校新人陸上競技大会は岩手県北上総合運動公園で開催された。出場したのは、土木科2年北村直人、種目は走高跳である。北村は昨年度1

m84の記録を出し地区高校新人大会では優勝の実績がある。しかし、今年度は、ケガで思うように記録を出せずに、県高校総体では、7位という悔しい結果に終わった。しかし、地区新人大会から徐々に調子を上げ、県大会で見事4位となり、東北大会出場を果たすことができた。

東北大会出場は本人だけでなく、陸上競技部全員の日々の練習の励みとなっている。来年度は、一人でも多くインターハイに出場できるように高い目標をもって、指導していきたい。これからも、応援よろしくお祈りします。

県高校新人大会出場

テニス部部长 鈴木将平



私達テニス部は「県ベスト4」という目標を掲げ、日々、練習に取り組んできた。

地区大会前の私達は、勝てるような集団ではなかったが、試合に近づくにつれ、部員全員が一丸となり、集中して練習に取り組むようになった。そうして練習していくうちにみんなが「勝ちたい」という気持ちになった。一人ではなく、チームで戦っているということに心がけた。試合に出られない人達が率先してコートでの準備や選手をサポートしてくれて、集中して練習することができた。

その結果、目標にしていた「県ベスト4」になることができた。県ベスト4になることができたのは、私達のみだけではなく、先生をはじめ、コーチや保護者、先輩方などたくさんの方々の支えがあったからこそだと思っている。

これからも感謝の気持ちを忘れず良い結果を残せるよう努力していきたい。

新しい発見をした修学旅行

二学年主任 貝田裕昭

古都「京都」は紅葉の季節を迎え一層風情を高めることに期待を膨らませる。また、「不滅の法灯」、「日本の山」でも知られる比延の山「延暦寺の東塔・西塔・横川」、奈良「法隆寺」・「東大寺」「薬師寺」など日本を代表するものである。歴史そのものが重要なものであるが、この季節ならではの色とりどりが建造物を一層引き出させ、風情のあるものとなる。建造物から見る歴史や文化も価値あるものであるが、延暦寺や薬師寺などでの僧侶から聞いた、法話や説法である。「悟り」「修行」など日常の生活や個々の生き方の導きにも引用されることが多い。その言葉にも大きな価値がある。人としての心を導く日本の文化・歴史を修学旅行を通じて学びたいものである。近代化した日本もすばらしいが日本の伝統や歴史、文化を知って国際社会に貢献できる日本人になってもう一つ、生徒たちの集団

における行動力の成長に驚かされた。「やる時はやる。」そんなたくましさを感じることができた。班別研修、宿舎で

の生活、集合時間の厳守など、正直一抔の不安があった。しかし、班別研修もほとんどの班が計画通りにこなすことができ、事故なく無事に終えることができた。計画以上の行動をした班もあったようであるが：(笑)何より、旅館の女将さんが生徒の行動に感謝していた。自分たちの行いで他人を喜ばすことができたことを誇りにして欲しいものである。

まとめに、修学旅行という高校生活での大きな行事を通じて生徒一人一人が成長し、学年全体として集団としての力を身につけてくれたように思われる。大人の感覚を持つ高校生に変身してくれることを期待したい。そして、これからの学校生活は、自ら行動できるものであり、自分たちの力で学校を盛り上げられるようさらに精進してくれることを希望する。修学旅行を成功に導いた生徒諸君に感謝する。

自分にできること

新生徒会長 鈴木 竜之



私が、今回生徒会長になりました。鈴木科二年の鈴木竜之です。私が生徒会長になった理由は、先輩たちがいるんな行事でリーダーシップを発揮している姿を見て、憧れたからです。正直自分に生徒会長ができるだろうか不安にもなりましたが、先輩方や友達に相談し、生徒会長になろうと決めました。

私の生徒会での目標は、「自立した生徒会」です。自分のできることは自分でするという意味で、例えば大きな声で相手よりも先にするなど、小さい事からでいいので、少しずつ自分でできる事をしていき、少しずつ学校を変えていこうと思っています。そして、全校生一人一人が自らできるように頑張っていきたいです。生徒会長としてみんなをまとめていけるだろうかなど、少し不安があります。しかし、これからより良い学校にしていこうという気合いもあります。足りない所はみんなが助け合い、これから頑張っていきたいと思っております。よろしくお祈りします。



本校に赴任し、約10ヶ月が過ぎようとしています。そんな今、普通科高校にはない手厚い進路、生徒指導が本校ではなされているなど感じています。担任、学年団はもちろんのこと、各専門学科でも温度差のない指導をしていただいていることに感謝しています。また、早い段階での就職、進学の高率が高いことにも驚きました。前任校で進路指導も担当していましたが、卒業近くまで本当に苦労をしました。本校生の内定をいただくスピードは凄いと



新任の先生より

赴任一年目
今、感じていること

教諭 菅谷 明浩

在学中一年一年身につけて、成長していつて欲しいと思っております。そして、卒業と同時に社会で通用する人間になって欲しいと願っています。

思います。もちろん、その陰には生徒本人の努力はもとより、家庭の協力、担任・進路指導部の先生方の並々ならぬご苦労があるからだと思います。さて、今後、本校生に期待することは、挨拶、掃除、場に応じた会話ができる生徒になつて欲しいということだと思います。それらの力を

保健部より

「手洗い」について考える

看護教諭 室岡由美子

工業高校に赴任し、改めて「手洗い」について考えてみました。看護系出身の私は、食事の前やトイレの後の手洗いを、まるで呼吸と同じようにやっていたのだが、皆がそう思っているわけではないことに気付いたからだ。実は本校では年間を通して感染性胃腸炎が流行する傾向があるが、この手洗いの不徹底さが原因の一つなのではないかと考えている。

そこです。夏休みに生徒と一緒に手洗いチェックカーや寒天培養による実験を試みました。特に制服で手を拭いた後の細菌繁殖は想像を超えた。りっぱな黒カビの塊がいくつもできていた。別な言い方をすると、手を洗った後は下手に制服では拭かない方がまし……ということになる。看護系でなくとも、食品関係や精密機器関係の企業では、手洗いが重視されるはずだ。幼い頃、健気な気持ちで聞いたであろう手洗いの方法を思い出し、ぜひ手指の清潔に努め、さらなる健康増進を望みたい。

卒業を迎えて

三年主任 大 楢 英 順

卒業を前にして三年間を振り返ってみれば、やはり様々な事柄が思い浮かんできます。当初160名の入学者でスタートし全員の卒業を目指しましたが、残念ながら一・二年時に五名が進路変更などで学校を去り155名の卒業となる予定です。しかし二つのクラスは一人も欠けることなくここまで来ました。

本校は三年間クラス替えもなく、生徒同士、あるいは先生と生徒の絆は強いものがあります。これは卒業後も続く

のではないのでしょうか。特に当学年は初めて担任を持ったという教師が3名もいるので、思い入れも深いものがあつたのではないかと思います。学校生活の思い出も様々ありますが、それは別にあって大震災の体験は強烈でした。自然と人間の在り方を改めて考えさせられました。不況と大震災の影響の下、現在進路達成率97%で卒業を迎えられるのは生徒達の努力は勿論、保護者・地域の方々のご協力の賜物と感謝します。

進路指導部より

進路指導部長 佐藤 繁樹

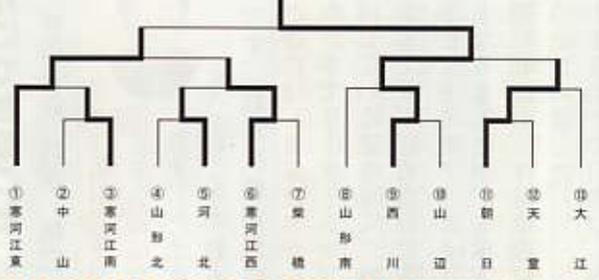
進路状況

まずは進路希望を達成された各々の生徒の努力に拍手を送るとともに、今後の活躍に期待したいと思います。今年度の進路状況を報告します。昨年6月頃の進路希望状況は進学希望者よりも就職希望者が若干多い状況でした。結果、6月時点とほぼ変わらない、割合の内定となりました。求人数に関しては、求人開始当初は震災の影響等により求人件数はやや出足の鈍い状況でしたが、8月中旬には、

ほぼ昨年度並みの求人をしていただくことができました。本年度の求人の特徴は、電気設備・土木・建設関係が3割増として介護福祉関係の求人が年々、増加傾向にあること、ハローワークのネット求人が主流になったこと、進学については例年同様の傾向で自宅から通学可能な学校や地元に近い学校に内定した割合が多いいことです。昨年の3月頃は今後の進路活動がまったく予想のつかない状況でしたが、関係者皆様のお蔭をもちまして、例年並みの進路内定が得られました。ことを心より感謝申し上げます。

レクレーション結果

【男子バレーボール】(H23年)



【女子バレーボール】(H23年)

